

補助事業番号 20-1-121
補助事業名 平成20年度 母子保健衛生思想の啓発普及補助事業
補助事業者名 財団法人予防接種リサーチセンター

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

国際化が進展する（外国人登録者数 197 万人、人口の 1.55%）中で、感染症予防のための安全で有効な予防接種の実施を推進するため、在留外国人に対して予防接種に関する正しい知識の啓発を行うこと（予防接種啓発用冊子の外国語版を発行）により、子どもの健康と国民の公衆衛生の向上を図り、もって公益の増進に寄与する。

(2) 実施内容

厚生労働省では、感染症の流行状況などを踏まえて予防接種関係規則等を逐次改正し、感染症の流行の予防に取り組んでいる。当財団では、厚生労働省の指導の下、予防接種対象児の保護者等が予防接種についての正しい知識を持ち安全に接種を受けられるよう「予防接種と子どもの健康」（A5 版 40 ページ）（啓発用冊子）を発行している。

この冊子を大使館等から推薦された専門医の監修を受けて、諸外国語に翻訳・発行するとともに、ホームページに掲載し、市町村・医療機関において、日本で生活している外国人が、予防接種を受ける時の説明（インフォームドコンセント）に使用している。

翻訳した言語

全文を翻訳した言語（5ヶ国語）

英語、韓国語、中国語、ポルトガル語、フィリピン語（タガログ語）

予診票のみを翻訳した言語（11ヶ国語）

スペイン語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ロシア語、タイ語、インドネシア語、モンゴル語、アラビア語

ホームページ <http://www.yoboseshu-rc.com/kids.html>

2. 予想される事業効果

全国全ての都道府県(47)、市町村(1,804)、都道府県医師会、郡市区医師会等(1,000) 各国大使館(159)に周知でき、医療現場において活用できることを可能とした。

また、各国の大使館を通じて、友好交流団体等へも周知することにより、在留の保護者等へも情報提供が可能となった。

これらにより、インフォームドコンセントが進み、安全でかつ効果的に予防接種を実施し、国民、在留外国人の免疫率の向上（感染症の予防、母子保健衛生・公衆衛生の向上）に資することが出来た。

3. 本事業により作成した印刷物等

上記の翻訳書（5ヶ国語、11ヶ国語）各1万部印刷。

なお、上記の全てを、当財団のホームページに掲載し、簡単にダウンロードし、プリントアウトして活用できるようにした。

4. 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名：財団法人予防接種リサーチセンター（ザイダンホウジンヨボウセッシュ
リサーチセンター）

住 所：160-0022

東京都新宿区新宿 1-29-8

代 表 者：理事長 下田智久（シモダトモヒサ）

担 当 者 名：総務部長 深見勝彦（フカミカツヒコ）

電 話 番 号：03-3341-8864

F A X：03-3341-8860

E - m a i l：BCL12569@nifty.com

U R L：<http://www.yoboseshu-rc.com/>